

シニアが伝える滋賀の魅力



壇ノ浦の戦いに草津市が出てくる…!?



守山市には考古学先駆者の…がある!?



長浜には、百数十年の伝統の人形が!?



日野に信長が娘の冬姫を嫁がせた、戦国武将がいた!?

~滋賀の魅力を発信!活躍するシニア~

滋賀県の魅力を広く発信しようと地元を愛し、魅力発信に貢献しておられるシニアの活動取材しました。

来年の大河ドラマでは明智光秀を描いた「麒麟がくる」がスタート、ますます注目を浴びる滋賀県。あなたの知らない歴史的な魅力が滋賀県には、まだまだあります!



もくじ

- 02. 草津ハイキングで魅力を伝えたい! 石田 はま子さん
- 03. 守山市の魅力をご案内しています。 仲谷 文夫さん
- 04. 義太夫は私の生きがい 澤村 正司さん
- 05.
- 06. 滋賀県日野で生まれた戦国武将
“蒲生氏郷”を伝えたい。
福永 保さん
- 07. 旅行作家 西本 柳枝 先生



ひたすけふるなかり

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会



▲草津ハイキングの昼食会場で思い入れのある草津川についての手作り紙芝居を披露することも。

1. ボランティアガイドをしようと思ったきっかけ

生まれは大津市。三井寺の疎水近くで生まれ育ち、坂本なども遠足で歩いたりしていたので、自然と歴史が好きになりました。昭和42年に草津へ嫁いだのですが、最初は地域に慣れるのに精一杯、それから子育てに精一杯、夫の転勤などもあり忙しく過ごしましたが、一段落し、外にパートで働き出したり、大好きな本を読むことができるようになりました。草津市立図書館は建てられた当初から通っています。また、公民館で地元の歴史講座があると知り参加、多くの先生や郷土史家のお話を聞く機会に恵まれ、草津のことがだんだん好きになっていきました。そして、平成6年に草津市のガイドボランティア養成講座があり、2年間研修を受けました。その後、ガイド協会が平成8年に誕生し、私もその年の4月に初めてガイドをしました。平成8年は、草津宿本陣の7年がかりの改修を終え一般公開、水生植物公園「みずの森」や琵琶湖博物館がオープンするといった年で、観光元年とよばれた年だったのです。

2. 草津のことを自分で調べることが楽しい。

草津には歴史的な見どころがたくさんあります。近松門左衛門の「冥途の飛脚」のモデルになった傾城梅川の墓が草津の清浄寺にあるのをご存知ですか。11月6日の命日には「梅川」慰霊法要が行われています。自分でも梅川の墓があるということを図書館で調べたら、確かに大正5年7月2日の新聞に掲載されていたのです。

有名な壇ノ浦の戦でも草津が出てきます。平家の総大将平宗盛と息子の清宗は捕虜となり、鎌倉へ送られ京へ送り帰される途中、父の宗盛は野洲で、清宗は草津の野路で打ち首になったということが、「吾妻鏡」という歴史書に載っているのです。しかし、「平家物語」では二人とも野洲となっていて。そんなことを自分で掘り下げて調べるのは楽しいです。

3. 草津の見どころはたくさん

草津宿本陣、三大神社のフジ、熱気球等々、たくさんあります。これからですと11月23日に芦浦観音寺の公開がありますし、12月にはクリスマスブーツ(草津が発祥の地です。)作りをやりませう。芦浦観音には、来年の大河ドラマで

注目の明智光秀が飛脚の路地がスムーズであるよう要請したという書状が見つかっています。

4. 現在の活動や心がけていること

平成12年から始まった「草津ハイキング」の企画からコースの決定などを主導してやっていた。今は後輩に継承、資料の提供などをしたり、年4回発行の草津市の情報誌「コミュニティくさつ」に「より道こ道」のタイトルで、草津の魅力を投稿させてもらっています。

心がけとしては、依頼が来たら、先方の団体と草津に何か関わりがないかを調べ、紹介したりします。すると少しでも心に留めていただけるかと思っています。また、ガイドをする前に以前に行ったところでも必ず下見をして確認をしています。あったものがなかったりする場合もありますから。新選組土方歳三の忘れ物「煙管入れ」などが草津宿で発見され注目された時も、展示された初日に足を運びました。

5. 皆さんからの応援や感謝の気持ちが嬉しい。

ガイドをしていて、後日感謝の手紙などをいただくと、本当にやってよかったと思いますし、やりがいが出ます。以前小学校3年生の子どもたちに立命館の木瓜原遺跡(ぼけわらいせき)を案内したことがあったのですが、その小学生の手紙は面白くて「石田さんありがとうございます。ぼくもだいがくは、りつめいかにします。そして石田さんに会います。」なんて書いてあり、私は立命館大学にはいないのですけどね。と思いつつ微笑ましく読ませてもらいました。また、かつて東海道整備が400年に当たっていたときには石部から草津へ案内するコースへは180名も来てくれたことがありました。その時は市やJRからも応援にきてくださいました。

6. 草津の魅力を案内したい方へ

これからガイドをやってみようかなあ、という方は、マニュアルを覚えるだけで大変かもしれませんが、是非、通常のマニュアルに書いていないことも伝えられるようになってほしいなと思います。今はスマホで何でも調べられるので、現地に来てくれた人に少しでも「へえ〜」と思ってもらえるような何かを。それを期待しています。

昔の草津駅は、比叡山、比良山系、三上山が見渡せました。今はマンションが立ち並び景観が変わり、残念な気持ちもありますが、草津は中山道と東海道の分岐点、電車では東海道線(琵琶湖線)と草津線の分岐点、国道1・8号線、高速では草津JCTで分岐、とても便利だからだと思いますね。草津が発展することを願いつつ、これからも大好きな草津の魅力を発信していきたいと思います。

【連絡先】
草津市まちなか交流施設「くさつ夢本陣」
TEL 077-563-3700 FAX 077-563-3700



▲年3回 観光ガイド協会便りが発行されています。

1. ボランティアを始めたきっかけは?

平成27年10月、滋賀県にある60歳以上のシニアのレイカディア大学(38期地域文化学科)に入学。1年時に地域活動体験学習というのがあり、それがきっかけでこのボランティアを始めました。これまで継続的にボランティアは一切しておらず、また、守山は単に家があるというだけのところでしたので、「地域のことを知る事ができるし一石二鳥!」と思い始めました。そこで平成28年4月から正式に守山市ボランティア観光ガイド協会に入らせていただき活動をしています。入る前に説明を受けた時は、守山の歴史・伝統・文化・地理・考古学的なことを相当調べないといけないと思いました。でも接客やお話をすることは得意。それに自分自身の生涯学習になるので、足が動くうちはずっとやろうと思っています。

2. 現在案内している場所は?

多くのコースがありますが次の2つのご案内が多いです。一つ目は、守山駅をスタートし、勝部神社から一里塚、本像寺や源内塚、守山宿・町屋「うの家」などを巡るスタンダード中山道コースで、二つ目は江戸期の大庄屋諏訪家屋敷、2寺院を訪ねるコースです。本像寺には、11歳の頃から珍石奇石に興味を抱き、様々な石を収集した木内石亭の墓があるのですが、なんと!かの有名なシーボルトが、『日本』という著書の中で、石亭の研究成果を引用していたのです。石亭は考古学の先駆者です。また、源内塚では13歳の源頼朝が源内兵衛真弘に襲われたところ、逆に頼朝が源内の首をはね、それを哀れんだ村人が源内の亡骸を供養したのが始まりと言われています。そしてそのエピソードが『平治物語』に記されているということで調べたら、載っていない…。でも別の本には載っていた。そんなことをしながら、色々調べるのは本当に楽しいです。

3. ガイドをするうえで、心がけていること

わかりやすいボランティアガイドのマニュアルはあるのですが、単に暗記するだけのマニュアルだけではダメ。自分で理解し、掘り下げることが大事だと思っています。

また、それが自分の住んでいる地域を愛する事にもつながると思っています。

特に3つのことに心がけています。
①わかりやすさ
自分の理解を基にした説明をして、自分でも紙芝居風のフラッシュカードなどの資料を作る。
②ボランティアガイドの全員のモットーでもある“おもてなしの心”を持って接する。
③自分が質問されて答えられないことは、後で必ず連絡をしてお答えする。

ということを大事にしています。また自己研鑽のため、先輩や他の地域でボランティアガイドをされている方の案内を見に行き、それを参考にして活かしたりしています。

4. 学ぶことすべてが糧に!

この活動のきっかけになったレイカディア大学での学びも今につながり、活かされています。当時学んだ地域学の授業では、私の住んでいる守山の古高に所縁のある“古高” 俊太郎を調べて発表しました。こんな歴史的な人物がいたとその時初めて知りました。また水源の森を地形図で調べる授業では、守山の三津川を調べ、大学祭ではクラスの皆で道標についても学びました。今のボランティアガイドに直接関係はないのですが、こういうことをベースとして知っているということは、ガイドをしていく中でとても大事だと思っています。

5. 守山の秋冬おすすめスポット!

個人的には、江戸時代後期建築の「大庄屋諏訪家屋敷」、蓮如上人ゆかりの寺である「赤野井別院」、一休和尚ゆかりの「少林寺」の散策。冬には、第一なぎさ公園の「菜の花畑」から眺める比良山の風景、「びわこ地球市民の森」での落葉をふみしめての散歩などが楽しいと思います。

6. ボランティアガイドは誰でもできます。

昨年協会が20周年を迎え、突然、本年度より、私に「会長を」と頼まれ、未熟なので悩んだのですが、「名ばかりですがそれでもよろしいですか」と引き受けることにしました。

実際、私もそうですが、ガイドは最初守山のことをあまり知らなくても、一緒に学んでいながら、少しずつ知識が増えていくものです。「ガイドは誰でもがなれる」をモットーに、「守山にまた来てみたい」と思われるお客様が増えることを楽しみにしております。

*守山市へのガイド依頼及びガイド協会へ入会される方は、次の事務局まで。

【連絡先】 守山市ボランティアガイド協会
事務局 守山市商工観光課内
TEL 077-582-1131 FAX 077-582-1166



▲左が太夫として浄瑠璃を語る澤村さん



1. 52歳の時に何か趣味を持たないと!と思い始めました。

私の住む長浜市には、江戸時代より百数十年の伝統を誇る富田人形浄瑠璃があります。友人の誘いで富田人形共遊団の稽古に参加する機会があり、何か趣味を持たないと。と思っていたのもあり、52歳から始めました。周りの方が優しくて、冗談で褒めて下さり、有頂天になってしまっ。それ以後すっかり人形浄瑠璃の太夫に魅了され、はや19年となりました。人形浄瑠璃を愛好するメンバーは現在18名で、会社員、公務員、主婦等にて日々練習に励み、地域伝統文化の保存と継承に努めています。



2. 人形浄瑠璃は、三業融合の芸能

人形浄瑠璃は、太夫と三味線それに一体の人形を三人で操る人形遣いの三業融合の芸能です。私は太夫として浄瑠璃を語ります。独得の義太夫節により一人で、すべての登場人物の台詞や仕草、情景描写、物語の背景など情感を語り分けます。無逆界の芸能ですが、義太夫を始めて九年後に「竹本富太夫」を襲名しました。襲名と「私の生きがい」のご褒美に念願の見台を購入し大切に愛用しています。



3. 現在の活動状況について教えてください。

現在、14演目のレパートリーを持ち、毎年2回の定期公演と地元各地域からの依頼公演、滋賀県、内外での交流イベント等に参加し年20回程の活動を行なっています。

4. 富田人形から国際交流が始まり、そして文化交流へと。

毎年、地元小中学校には、出前講座による伝統芸能の継承育成や、海外からは、「富田人形サマープログラム」を開講し、毎年6月～7月の2カ月間十数名の留学生を迎え、ホームステイにより日本伝統文化の普及に努め



▲ホームステイを受け入れ海外留学生と家族に囲まれる



ています。私宅にも今迄6名の留学生をホームステイで受け入れ、現在も親しく交流を続けています。海外公演は、富田人形体験サマープログラムで学んだ留学生の橋渡しにより実現した海外公演が多数あり、日本伝統文化の誇りと、文化交流への関りに感謝しています。又、県・市等の交流イベント開催での公演により日本伝統文化に努めています。特に深い思い出の公演は、地元長浜市に於いて、第二九回全国「みどりの愛護」の集い(平成三十年五月二六日)が開催され、当時の皇太子殿下と雅子妃殿下の御前にて、地域の伝統文化として御拝謁いただき直接お言葉も頂いたことです。



5. 自然に囲まれた長浜が好き

長浜は自然に囲まれた、静かで住みやすいところです。ゆったりとした時間に葡萄や桃などの果物も作っています。なんでも興味があるので、楽しいですね。

6. 明日への活動の源は激励の言葉

各地での公演を通じて「ありがとう、楽しかった、良かった、感動した」等激励の言葉を受けた時が明日への活動の源となっています。郷土に誇る伝統芸能を今後も次世代を担う子供達に体験させ継承に努め、地域に根ざし愛好され続けるよう「みつけた私のいきがい」を大切に更なるボランティア活動を推進していきたいです。

【富田人形に関するお問合せ先】
富田人形共遊団 団長 阿部 秀彦
TEL 0749-72-2082



▲講演会開催の様子

1. この活動を始めたきっかけ

私は、生まれも育ちも日野。幼い頃から郷土の偉人でもある、蒲生氏郷のことは知っていました。まだ現役で働いていた頃、日野から蒲生氏郷法要の日に京都の大徳寺に行くバスツアーがあり、たまたま日曜日で仕事が休み。それに参加できたのがきっかけです。もともと歴史書を読んだり、城廻りが好きでしたので、出会った人から観光ボランティアのことや史談会(しだんかい)という歴史を談ずる会の事など様々な話を聞き、より一層歴史に興味を持ちました。そしてできるだけ早い時期に地元の日野の歴史などを深く勉強したいと思っていたので、61歳で仕事をリタイアしました。また、バスツアーに乗っていた方がたまたまレイカディア大学の卒業生ということもあり、紹介していただいた北近江文化学科に入学(39期)。卒業後も同じクラスのメンバー10人で「十人十色の会」を作って集まり、今は秋に向けて氏郷出世双穴を作成中です。イラストが上手であったり、パソコンが得意であったりと皆十人十色の才能を持っていて、双穴ができたら各地を回り、子どもたちに遊びながら氏郷のことを勉強してもらえたらと願っています。

2. 日野が生んだ戦国時代の英雄

蒲生氏郷は日野生まれ、織田信長が上洛時近江を攻め、佐々木六角は退散しました。その時日野の蒲生氏は信長に従い、13歳の氏郷は信長の人質として岐阜城に送られました。初陣で戦功を立て、その器量を見込んだ信長は氏郷を気に入り、娘の冬姫を嫁がせて日野への帰国を許しました。その後氏郷は数々の戦で手柄を立てますが、天正10年6月2日、本能寺の変で信長は明智光秀に攻められ自害します。その時氏郷の父賢秀は安土城留守居役を務めており、信長死去の報せを聞いて、氏郷を呼び寄せ安土城内にいた信長の妻子らを日野中野城に避難させます。光秀の「近江半国を与えるので味方に付か

ないか」という誘いを断り、氏郷は義父信長に忠義を尽くしました。光秀の重臣明智秀満の追撃を振り切り、その間に山崎で光秀は秀吉に敗れました。

3. 豊臣秀吉の信頼を得た蒲生氏郷

氏郷は、その後松阪12万石、会津若松92万石の大大名となり、豊臣政権を支えます。しかし氏郷は残念ながら文禄4年2月7日、40歳の若さで京都伏見屋敷にて死去。氏郷は戦働きだけでなく、キリシタン大名として布教活動、利休七哲の筆頭茶人、数々の和歌を詠んだ文化人としても優れた才能を発揮しました。

4. 蒲生氏郷からどんどん広がる交流と日野への郷土愛

この日野で生まれた蒲生氏郷の功績を称え、広く世の中に知って貰う活動を私は行っています。「蒲生氏郷公顕彰会」に参加して日野、松阪、会津若松の氏郷ゆかりの3市町で交流をしています。今年3月には日野町立図書館で「蒲生氏郷の城」展の展示・講演会を行い、「十人十色の会」やレイカディア大学「城郭探訪会」のメンバーにも協力して貰って、大勢の人にご参加いただきました。7月には「エフエムひこね」のラジオ番組で3週間にわたり氏郷を熱く語りました。また、夏・秋と年2回、氏郷まつりに参加しています。そういうことをやっていると、自然と郷土愛が生まれ、外部にも発信して郷土の良さを知ってもらいたい!と思うようになります。モットーは、「楽しめる事!」自分が楽しめない相手には伝わりませんから。そしてそれが他の人に楽しんでもらえるなら嬉しいのです。

5. 今後の目標は?

本づくりに力を注いでいます。来年に向け「蒲生氏郷の城」というタイトルで本の出版を予定しています。来年は明智光秀の大河ドラマも始まるので、氏郷が明智に対抗したところも本に書こうと思っています。また、私が所属している日野観光ボランティアガイドで氏郷ゆかりの地を巡る歴史ウォーキングの募集も計画しています。滋賀県が注目を集める来年、是非蒲生氏郷にも注目していただければ幸いです。

6. 日野に遊びにきてください!

今年の干支でもある“亥”に所縁のある「綿向神社」やブルーメの丘はおすすめですね。ブルーメの丘はアスレチックもできて子どもさんにも人気です。

【連絡先】

- 蒲生氏郷のことについては
蒲生氏郷公顕彰会 事務局 日野町教育委員会
TEL 0748-52-6564
- 日野観光については
日野観光協会
TEL 0748-52-6577

先生からのメッセージ Message

プロフィール

● 小学校教員を3年勤めた後、「東海自然歩道」のテレビ放送に携わり、番組終了後、その(「東海自然歩道」)ガイドブックを出版。それを機にフリーの旅の記者業に。滋賀県との関わりは企業誌で「近江の街物語」「近江の文学風景」を連載したことに始まり、それがご縁でレイカディア大学でも、「文学作品と近江」の話をさせていただいています。

滋賀県レイカディア大学 講師
びわこトラスト理事
旅行作家

西本 椰枝 先生



知的欲求に応えてくれる素材が揃う地・滋賀県

滋賀県は観光ボランティアガイドの先進県と言われていました。まだ観光ボランティアガイドの制度が今のようにひろがっていないときでしたが、長浜の故川村明さんたちが中心になって、「わが町」を熱く語っていらっしゃいましたから……。ただ、その頃はまだ県内の観光への取り組みの温度差は大きく、長浜や近江八幡を除けば、「磨く」という作業は遅れていた感がありました。「近江は豊かなんだね」と皮肉られるぐらい、豊富にある我が町の宝が放つたらかでした。

ところが、近年、変わってきました。近江の文化、歴史、自然に感嘆の目を向ける人たちが多くなってきました。県外からの注目もさることながら、嬉しいのは地元の方たちがそれを認知して誇りに思われるようになったことです。川村さんがいつも言われていた「自分の町が好きでなくて、どうやってよから人が来ますか。住んでる者がこの町を大好きだと思ってるから、人も寄って来てくれます」という言葉に説得力がありました。確かに、旅先で「わが町大好き」な人に出会うと、フシギに町全部が好きになってしまう…ことは、誰も経験なさっていると思います。「大好き」は「磨く」第一歩。実感です。

どこの土地でも歴史があり土地独特の文化があります。近江だけに歴史や文化があるわけではないのですが、近江が特別なのは、太古の時代に始まり現代に至るまで、どこの時代を切りとって、教科書に載るほどの事象がある、ということでしょう。近江は日本の歴史の骨格を見ることが出来る地…だと、私は思っています。大袈裟ではなく……。軽い好奇心も深い好奇心も、自在に選択できるほど、人の知的欲求に応えてくれる素材が揃っている地なのです。

一つのことを知ると、そこから広がる世界のなんと多いことか!次から次へと知らなかった世界がひろがっていく喜び…。これこそ近江ならではの、と思います。皆様のお話の中にじむ「我が町大好き」の思い…。近江への好奇心を一層湧きたたせてくれます。



全国200万人
加入!!

ボランティア活動保険

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)			
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(*) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

(*)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

●後遺障害も
フルカバーなので
安心です!!

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあつて亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動や
ボランティア活動の
さまざまな行事における
ケガ、賠償(主催者責任)
を補償!!

保険金額

A・B・Cプラン共通 (A・B・Cプラン共に熱中症危険補償特約セット)

保険金の種類		補償内容	
ケガの補償	死亡保険金	400万円	
	後遺障害保険金	400万円(限度額)	
	入院保険金日額	3,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	35,000円
		外来の手術	17,500円
通院保険金日額	2,200円		
賠償責任	対人事故	1名・1事故 2億円(限度額)	
	対物事故	1事故 1,000万円(限度額)	

※賠償責任の補償の限度額は、補償の対象となるリスクの種類ごとに適用されます。

保険料(1名あたり)

団体割引15%適用済

※詳しい内容は、パンフレットをご覧ください。

Aプラン(宿泊を伴わない行事)			
A1の行事	A2の行事	A3の行事	
1日 28円 (最低保険料 560円)	1日 126円 (最低保険料 2,520円)	1日 248円 (最低保険料 4,960円)	
Bプラン(宿泊を伴う行事)			
1泊2日(2日間)	241円	2泊3日(3日間)	295円
Cプラン (A1区分で宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できない行事)			
1日	28円(最低保険料 560円)		

送迎サービス補償

(傷害保険)

- ◆ 送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

- ◆ ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

● この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。